

# 宮整広報

## CONTENTS

上泉昌隆会長年頭挨拶 .....	1
平成20年新年会 .....	2
宮城県警察本部より感謝状受贈 .....	9
保険部だより	
健保連との情報交換会報告 .....	10
平成19年保険全体研修会 .....	11
JA共済会との情報交換会報告 .....	13
来て！学んで！みんなで！柔整スクール	
スクール必修講座の新設について .....	14
第5期スクール開講状況 .....	15
みやぎ災害救援ボランティアセンター活動報告会に参加して .....	16
第53回宮整ゴルフ愛好会コンペ報告 .....	17
風見鶏 .....	18
訃報 .....	19
編集後記 .....	20





## 年頭挨拶

宮城県柔道整復師会 会長 上泉 昌隆

新春のお慶びを申し上げます。  
新しい決意の下、健やかにご活躍のことと思います。

昨年中は柔整師会活動を充分ご理解頂き、心からのご尽力、ご協力を頂きましたことに深く感謝し、お礼申し上げます。

特に昨年は会創立七十周年・社団法人設立三十周年という記念すべき節目の年であり、先人のご努力・ご尽力・ご苦勞に感謝し共に祝い、そして未来栄光・更なる発展と次世代育成を誓った年でもありました。

今年には社会保険庁の民営化による新法人設立や診療報酬改定、高齢者保険・介護予防等々国の基盤づくりで揺れ動いている中、我々も変革にいかに対応していくか、多くのそして的確で敏速な策を立てていかなければなりません。

この様に多くの問題を抱えている日本の現状を冷静に受け止め、今こそ柔

道整復師として道を極める為に日々研鑽している我々がしっかりと腹を据えて国民の医療に貢献していきましよう。今年私達は

- ◎ 社会貢献（理念・使命感）
- ◎ 教育研修（自己改革・卒後研修、柔道整復学の構築）
- ◎ 会員の福利（会員の利潤）

これらを今年の指針とし、「子供とお年寄りの避難所」の訓練、実践の分析や柔整スクールの充実、介護関係の機能訓練、指導員としてのフォローアップ講習や保険研修を行い、レベルアップを図り、より高質の地域支援事業をしていきます。

今や日常生活の商品や原材料を海外に依存せざるをえない日本があります。が、日本人の風土・文化・倫理観などに合わず国民の安全・安定がおびやかされている事例が増えています。そして、もう一度日本を見直そうという動きが自然発生的に出てきています。医

療界においても、現在のすばらしい国民皆保険制度を崩すことなく、日本で生まれた柔道整復に誇りを持ち、心に届く、響く、そして心を伝えられる整復師会でありたいと思っています。だからこそ、これからは日整・試験財団・養成学校協会・接骨医学会等の一体化を強く望み大きな力となることを期待します。

日本柔道整復師会が大型船であれば宮城県柔道整復師会は強固なタグボートとして共に進みたいと思います。

会運営については、理事役員は常に会員の声を聴き、役をよく知り、役に徹し役をこえずの精神で常に改革・改善を心がけ社団法人の使命を果たしていく為に心一つにし、実践実行していきます。

混沌とした社会においては我々の判断力はもちろん、地域の判断力も高めていきたいと思います。

この新しい年、各自の日々の研鑽と実践実行をもって実りある年にし、会員皆様、関係各位にとつて飛躍と感動と繁栄の年になりますことをご祈念申し上げます。

# 平成20年 新年会

平成20年1月20日(日) 江陽グランドホテル



平成二十年一月二十日(日)、江陽グランドホテル鳳凰の間に於いて、(社)宮城県柔道整復師会新年会が多数の来賓を迎え、また会員の奥様方にも参会していただき、盛大かつ厳粛に執り行われました。

ウエルカムドリントクに始まり、第一部では常盤木学園高等学校音楽科の生徒さんによる祝奏を、同高等学校音楽科主任の尾形牧子教諭の指揮でご披露いただきました。



演奏はヴァイオリン、チェロ、ピアノ演奏、トランペット独奏と続き、参会者一同すばらしい音色に感動して、会場全体が心地良い空間に包まれました。

尾形牧子教諭並びに生徒の皆さんに花束を贈呈し、第一部が幕を閉じました。

第二部、新年会は豊嶋良一副会長の開会の辞に始まり、上泉昌隆会長により、来賓並びに会員と会員奥様



常盤木学園高等学校音楽科  
主任 尾形牧子教諭



方各位に、新年のご挨拶と感謝の意、  
宮城県内の警察署や地方自治体と  
「子供とお年寄りの避難所」として、

当会と協定を締結した事など、年頭  
の挨拶として述べられました。

引き続き、来賓の方々よりまず、  
宮城県医師会 会長 師研也様、続  
いて当会顧問 外務副大臣 衆議院  
議員 小野寺五典様（代理で奥様）、  
続いて当会顧問 参議院議員 愛知  
治郎様、続いて当会顧問 参議院議  
員 桜井充様からそれぞれご祝辞を  
賜りました。

#### 福祉募金

毎年一度、当会全会員三五三名  
の各接骨院・整骨院の受付窓口  
に設置している「福祉募金箱」の収  
益金を取りまとめ、慶賀の席上  
にて、福祉募金として各団体に贈呈  
させていただいている。

ここで、祝電披露、そして毎年恒  
例となっている福祉募金贈呈が執り  
行われ宮城県障害者スポーツ協会、  
仙台市障害者スポーツ協会、スベ  
シャルオリンピックス日本・宮城各  
位に贈呈しました。

その後新年を祝し、仙台市医師  
会 会長 山田明之様のご発声にて  
「乾杯!!」。声が響き渡る中、祝宴へ  
と入りました。

祝宴もたけなわのところ、まず、  
当会顧問 経済産業省副大臣 衆議  
院議員 中野正志様、続いて当会顧  
問 宮城県議会議員 菊地浩様、続  
いて岩沼市議会議員 沼田健一様よ  
りそれぞれご祝辞を賜りました。



当会の公益活動風景をスライドで上映させていただきながら大変和やかに祝宴は過ぎて行き、親睦も深まり、心通う談笑のひとつときに名残はつきませんでした。ここで宮城県医師国民健康保険組合理事長、日野泰彦様より万歳三唱のご発声をいただき参会者一同元氣一杯に唱和いたしました。

最後に当会中川利光副会長より、ご来賓の皆様へ感謝の意と揺るぎない当会の方向性を申し上げ、今年の新年会は、滞りなく散会となりました。

司会進行 佐藤 敬一 会員  
 佐藤 博子(事務局)  
 会場 林 伸也 会員  
 佐々木俊夫 会員  
 広報 千葉 勝弘 会員  
 稲葉 泰三 会員  
 総合プロデュース 事業部  
 (文責 広報部)



仙台市医師会 会長  
**山田明之様**  
 乾杯ご発声



宮城県医師会 会長  
**師研也様**

「少子化社会や財政難になるも、国民の為の医療を守らなければならない。」



当会顧問 参議院議員  
**愛知治郎様**

「参議院財政金融委員会筆頭理事の立場であり、諸問題成立なくしては財源が回らなくなり、医療にもしわ寄せがくる。そうならない様にご理解していただきたい。」



当会顧問  
 経済産業省副大臣 衆議院議員  
**中野正志様**

「日本の医療体系の中で、課題も沢山あるが、その意を受け、新年も頑張る。」



当会顧問 宮城県議会議員  
**菊地 浩 様**

「子供達のスポーツも高度化して、身体的障害が多々有る。柔整師の皆さんは地域に密着した医療であり、スポーツ医療に一番近い所にあるのが接骨院。」



当会顧問 参議院議員  
**桜井 充 様**

「西洋医療から統合医療へ推進され、柔整師としては保険医療、療養費受領委任払い制度の維持が不可欠であり、内科でもある私が、接骨院と医療機関との連携がスムーズに取れるように橋渡しをしていきたい。」



宮城県医師国民健康保険組合  
理事長  
**日野 泰彦 様**  
万歳三唱ご発声



帝京大学医療技術学科教授  
当会顧問  
医学博士  
**佐藤 健 様**



岩沼市議会議員  
**沼田 健一 様**

「子供とお年寄りの避難所を、市として一番最初に協定を結び、岩沼市の安心安全を目指して街づくりをすすめている。」



特定非営利活動法人スペシャル  
オリックス日本・宮城  
理事長  
**白木 福次郎 様**

仙台市障害者スポーツ協会  
事務局長  
**岡田 儀則 様**

宮城県障害者スポーツ協会  
常任理事  
**佐藤 一樹 様**



㊦ 宮城県柔道整復療養費審査委員会委員  
宮城県国民健康保険団体連合会 審査管理課副参事  
**窪田 一夫 様**

㊦ 全国共済農業協同組合連合会宮城県本部  
自動車損害調査部長  
**荒井 秀一 様**



㊦ 宮城県柔道整復療養費審査委員会委員  
東北薬業健康保険組合 常務理事  
**氏家 久光 様**

㊦ 健康保険組合連合会宮城連合会  
常任理事  
**錦戸 正行 様**



宮城県柔道整復療養費審査委員会委員  
宮城県国民健康保険団体連合会  
審査管理課主幹  
**日下 都子 様**



宮城県国民健康保険団体連合会  
常務理事  
**小野 幸知 様**



㊦ 宮城県柔道整復療養費審査委員会委員  
元仙台北社会保険事務所 次長  
**長田 典勝 様**

㊦ 日本興亜損害調査株式会社 医療顧問  
**沼田 益偉 様**



iスタジオの会  
代表  
**阿部 忠彦 様**

宮城県柔道連盟  
会長  
**佐藤 幸二 様**



宮城ボッチャ協会  
**山尾 純子 様**

宮城県障害者スポーツ  
指導者協議会 事務局長  
**西村 上仁 様**



株式会社 エス・エス・ビー  
仙台営業所所長

**郡山宗浩様**

佐々木英男税理士事務所  
税理士

**佐々木英男様**



仙台市障害者スポーツ指導者協議会  
会長

**八尋長一様**



特定非営利活動法人  
みやぎ災害救援ボランティアセンター  
副会長

**伊藤信一様**



株式会社 パールシャープ仙台  
代表取締役

**金澤キミ子様**

株式会社 パールシャープ仙台  
部長

**霜山武様**



朝日電子東北販売株式会社  
代表取締役

**石川浄様**



株式会社 メディカルプランニング  
代表取締役

**庄司年一様**



株式会社 イノスベック  
代表取締役

**井上吉郎様**

株式会社 グローバー  
代表取締役

**菅井博様**



御来賓名簿  
(順不同)

衆議院議員 経済産業省副大臣	(社)宮城県柔道整復師会顧問	中野 正志	様
衆議院議員 外務副大臣	(社)宮城県柔道整復師会顧問	小野寺五典	様
参議院議員	(社)宮城県柔道整復師会顧問	愛知 治郎	様
参議院議員	(社)宮城県柔道整復師会顧問	桜井 充	様
宮城県議会議員	(社)宮城県柔道整復師会顧問	菊地 浩	様
岩沼市 市議会議員		沼田 健一	様
宮城県医師会 会長		師 研也	様
仙台市医師会 会長		山田 明之	様
医学博士 (財)柔道整復研修試験財団専門委員	(社)宮城県柔道整復師会顧問	佐藤 捷	様
宮城県医師国民健康保険組合 理事長		日野 泰彦	様
宮城県柔道連盟 会長		佐藤 幸二	様
宮城県障害者スポーツ協会 常任理事		佐藤 一樹	様
仙台市障害者スポーツ協会 事務局長		岡田 儀則	様
特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・宮城 理事長		白木福次郎	様
宮城県障害者スポーツ指導者協議会 事務局長		西村 上仁	様
仙台市障害者スポーツ指導者協議会 会長		八尋 長一	様
特定非営利活動法人みやぎ災害救援ボランティアセンター 副会長		伊藤 信一	様
iスタジオの会 代表		阿部 忠彦	様
みやぎ障害者フライングディスク協会 事務局次長		小山田忠幸	様
宮城ボッチャ協会		山尾 純子	様
宮城県国民健康保険団体連合会 常務理事		小野 幸知	様
健康保険組合連合会宮城連合会 常任理事		錦戸 正行	様
日本興亜損害調査株式会社 医療顧問		沼田 益偉	様
全国共済農業協同組合連合会宮城県本部 自動車損害調査部長		荒井 秀一	様
宮城県柔道整復療養費審査委員会			
〃 委員 元仙台北社会保険事務所 次長		長田 典勝	様
〃 委員 東北薬業健康保険組合 常務理事		氏家 久光	様
〃 委員 宮城県国民健康保険団体連合会 審査管理課副参事		窪田 一夫	様
〃 委員 宮城県国民健康保険団体連合会 審査管理課主幹		日下 都子	様
佐々木英男税理士事務所 税理士		佐々木英男	様
学校法人東北柔専仙台接骨医療専門学校 理事長		島谷 俊美	様
学校法人健生学園東日本医療専門学校 理事長		中尾 充	様
学校法人慈慶文化学園 仙台医健専門学校 柔道整復科学科長		大久保博臣	様
株式会社 エス・エス・ビー 仙台営業所所長		郡山 宗浩	様
株式会社 グローバー 代表取締役		菅井 博	様
日本プロジェクト株式会社 仙台営業所		高橋 卓	様
株式会社 イノスペック 代表取締役		井上 吉郎	様
株式会社 パールシャープ仙台 代表取締役		金澤キミ子	様
株式会社 パールシャープ仙台 部長		霜山 武	様
株式会社 メディカルプランニング 代表取締役		庄司 年一	様
有限会社 イーストワークス マネージャー		成田 良彦	様
株式会社 日本メディックス 仙台営業所 所長		佐藤 守	様
株式会社 日本メディックス 仙台営業所		伊藤 秀幸	様
伊藤超短波株式会社 メディカル事業部 仙台営業所		高田 浩瑞	様
朝日電子東北販売株式会社 代表取締役		石川 浄	様

## 警察活動功労者表彰式

平成十九年十月二十九日(月)パレス宮城野ホテルにおいて、警察活動功労者の表彰式が、厳粛に執り行われ、警視監 高橋美佐男宮城県警察本部長より、お一人おひとりに感謝状が手渡されました。

当会からは上泉会長並びに豊嶋・



中川の両副会長が帯同。当会の多年にわたる警察術科大会への「救護員派遣」ならびに子供や高齢者の「防犯活動推進」取り組みが、警察活動に対する多大なる貢献として十八名を表彰。社団法人としての受賞は当会のみという光栄を賜りました。

功労者は当会の、警察術科及び子供・高齢者防犯活動一団体を筆頭に、少年非行防止活動一団体、刑事警察活動一団体・二名、交通安全活動五団体、ボランティア(防犯)活動一団体、交通安全・犯罪被害防止活動一団体、警察活動支援六団体、計十六団体・二名の方々が名誉の受賞をされました。

表彰式終了後、席を移しまして「懇親会(茶話会)」が行われ、本部長自らお一人おひとりに功労の感謝を述べられ、各席を回られているお姿に、各位への手厚い感謝のお気持ちに、各心に深く染み入る素晴らしい会となっていました。

この度の栄誉は、地域医療の一翼を担い、会員個々人が永い年月をかけて培って来た社会的貢献の実績を基に、個人の活動の規模から、社会的ニーズに呼応する社団法人の組織



的活動の規模へと、会員皆様の崇高なるご理解とご協力の元、活動してきた成果として、深く感謝と御礼を申し上げます。

サバイバルな時世にあって、私達社団(公益)法人は、常に“今”社会は何を求め、何を期待しているのか、声なき声に真摯に耳を傾け、会員個々の力を結集し、組織の“力”として、積極的に社会貢献をし続けなければなりません。今後益々のご尽力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

(文責 副会長中川利光)

## 保険部だより

# 健康保険組合連合会 宮城連合会 情報交換会

平成19年10月11日

### 【出席者】

健康保険組合連合会宮城連合会

東北電力健康保険組合

七十七銀行健康保険組合

東北薬業健康保険組合

宮城県自動車販売健康保険組合

仙台銀行健康保険組合

仙台卸商健康保険組合

日生協健康保険組合

健保連宮城連合会事務局

宮城県柔道整復師会

上泉 昌隆 会長 豊嶋 良一 副会長

中川 利光 副会長 櫻田 裕 筆頭理事

佐々木 賢 会長代理理事

松元 浩二 理事 日時 誠 理事

大坂 武史 理事

### 【健保組合側からの要望事項】

平成十二年から健保連宮城連合会と当会のあいだで、相互の理解に向け情報交換会が開催されております。今回も双方から活発な意見の交換が行なわれ、健保組合側からの要望事項および質問事項について当会側の見解を示し、さらには、日時誠理事による「会員の資質向上に向けた宮城県柔道整復師会のとりのくみ」というテーマでプレゼンテーションを行い、当会に対する理解と療養費請求の円滑な取扱いをめざし協議が行なわれました。

- 一. 被保険者証の提出を求め、受給資格の確認をされたいこと。（療養担当規則第三条）（受領委任の取扱規程十四）
- 二. 業務上の疾病、通勤途上の事故は療養費支給対象外であることから、患者より聴取するなど遵守されたいこと。（健康保険法第一条）
- 三. 柔道整復師が健康保険組合に提

出する「療養費支給申請書」の下部に委任状の欄がありますが患者の自筆で記入をされたいこと。（昭和六十一年六月六日 保険発第五十七号）

- 四. 「打撲・捻挫の施術が初検の日から三ヶ月を超えて継続する場合は、負傷部位、症状及び施術の継続が必要な理由を明らかにした理由書を療養費支給申請書に添付すること」を遵守されたいこと。（平成十九年四月十七日 保険発第五十七号）
- 五. 「患者が任意に施術を中止し、一月以上経過した後、再び同一の施術所において施術を受けた場合には、その施術が同一負傷に対するものであっても当該負傷は初検として取り扱うこと」の規定を遵守されたいこと。（平成十九年四月十七日 保険発第五十七号）
- 六. 同一部位について医師と柔道整復師の両方に受診した場合は重複申請となる事から留意願いたいこと。（健康保険法第八十七条）

保険部だより

# 平成19年度保険全体研修

平成19年10月14日

○保険全体研修出席者数

十月十四日（本講習）

出席者 二七八名

十月二十七日（補 講）

出席者 三十九名

十一月十七日（補 講）

出席者 十一名

総出席者 三三八名（三五二名）

※残り二十四名についてもその後補講を実施している。

○集団指導（要旨）

## 1. 宮城県柔道整復療養費審査委員会 の審査状況について

宮城県の審査状況

（平成十八年四月～平成十九年三月）

政府管掌健康保険

二二五、八六九件

船員保険

一、一七一件

社保計

二二七、〇四〇件

健康保険組合

四〇、五四一件

国民健康保険

二八六、二六一件

総合計

五四三、八四二件

## 2. 療養費支給申請における留意点 について

一. 審査会において返戻処分となつた事例……平成十九年一月～平成十九年九月まで二一九件

ア 近接部位の算定間違い（負傷部位の詳細を含む）……五七・八%（記載、入力ミスも含む）

イ 申請者名の相違（本人⇕家族の相違を含む）……一四・八%

ウ 打撲、捻挫、挫傷の施術が初診の日から三月を越えた場合の長期理由記載又は添付がないもの……一四・二%

エ 施術部位が四部位以上の場合の負傷原因の記載又は添付がないもの……三%

オ 施術の必要性について……一四%

カ 初検料、再検料の算定間違い  
キ 施術情報提供料の算定間違い  
ク 骨折、不全骨折、脱臼等について  
の医師の同意未取得……

一%

### 【集団指導】

平成十九年度宮城県柔道整復師会  
集団指導及び講習会が宮城社会保険  
事務局・保険給付指導官によりおこ  
なわれました。補講講習を含めた出  
席率が九十三%と、非常に高い出席  
率が会員の意識の高さを表している  
ことがうかがえます。

## 二. その他の留意点

- ア 負傷名及びその部位が、負傷原因及び受傷状態からして不自然なもの
- イ 負傷部位が二〜三部位以上で毎月連続しているもので、傾向的に療養を行っているもの

## 3. 個別指導及び監査について

- ・平成十九年七月社会保険事務局において県内三施術所に対し個別指導が行われ、二施術所に於いての不正が認められた。
- ・監査の結果、二施術所に架空請求がみうけられ留意事項に反する為五年間の受領委任の停止と不正請求に対し療養費返還（返金）処置が命ぜられた。

## 4. その他（政府管掌保険について）

- ・平成二十年十月より政府管掌保険がなくなり全国健康保険協会が設立される
- ・新しい保険証の交付により保険者名と保険者番号への変更

- ・審査等も磁気媒体化された情報から、システム上でチェックされる予定
- ・数多くあった社会保険事務局も各都道府県四十七ヶ所に支部化
- ・宮城県も六ヶ所の各事務所が宮城支部として一本化
- ・記号・番号もすべて数字化される
- ・資格確認もOCRで読み取り磁気媒体化しシステム上で突合し確認が出来るようになる

## 【保険研修】

保険請求手引書「宮整マスター2004」の発行から三年を過ぎ、改訂版として大幅に内容を増補した「宮整マスター2007」を作成しました。当日は会員に配布し、作成にあたった、松元浩二学術部長、部員の越後勇人・藤本淳也会員、櫻田裕保険部長、部員の藤井裕文・齋藤拓幸会員が内容についての説明・解説をもとに研修をおこないました。今回の「宮整マスター2007」は一一〇ページの編集で、約六十ペー

ジの記載の拡充となっております。内容的には、新たに施術録・申請書の記載や労災保険、生活保護の取り扱い、証明書、各種申請書の記載、発行について、新入会員にもわかりやすく図解を取り入れました。施術録の整備については柔道整復理論に基づき、実際の記載例をあげて詳細に解説しております。また、自賠責保険についても新たに掲載して、業務全般にわたる解説書となっております。



保険部だより

全国共済農業協同組合連合会  
宮城県本部連絡会議

平成19年12月7日

全国共済農業協同組合連合会宮城県本部連絡会議（JA共済連宮城）とのあいだで自賠責共済の取り扱いについての連絡会議が昨年引き続きおこなわれました。

【出席者】

JA共済連 宮城

自動車損害調査部長  
仙台自動車損害調査サービスセンター長  
古川自動車損害調査サービスセンター長  
自動車損害調査総合課長  
自動車損害調査総合課長補佐

宮城県柔道整復師会

上泉 昌隆会長  
豊嶋 良一副会長  
櫻田 裕筆頭理事  
佐々木 賢会長代理理事  
佐藤 勝一会長諮問員

JA共済連宮城は県内の自動車保険契約件数のシェア第二位、自賠責保険契約台数のシェア第五位を占めており、当会の自賠責取扱いに関するアンケートでも、共済部門では第一位となっています。

前回の会議上で、定期的に実務担当者会議を開催することを確認しており、請求事例について実務担当者会議で検討をおこなってきました。

今回の連絡会議でも、会員に対するアンケート調査の結果から、自賠責保険（共済も含む）の問題事例を提示し協議しました。今後も定期的に請求事例等についての検討、協議を実務担当者会議や連絡会議において行うことで合意し終了しました。

（保険部だより文責

筆頭理事 櫻田 裕）



来て!学んで!みんなで!

## 第5期 柔整スクール

柔整スクール担当理事  
日時 誠

宮城柔整スクールも、今期で第五期目を迎えました。これまでの四期までで、多くの会員の皆様に参加していただき、随分浸透してきたと考えております。そこでこの五期目では、さらに一歩、スクールを進歩、発展させ、会員一人一人にとって、より実りある活動にしていくために、新入会員のオリエンテーションを兼ねた「必修講座」と従来の形式の「一般講座」といった二本柱で開講しております。

### スクール必修講座の新設について

現代社会に多発する倫理観の欠如した事件などを背景にして、教育のあり方を見直そうといった気運が非常に高まりを見せています。こと柔整を取り巻く社会からも、若い柔道整復師に対して、「数の過剰による粗製乱造」「倫理、道徳観の希薄化」などを危惧する声は少なくありません。そんな時代の中で、「(社)宮城県柔道整復師会の新入会員については、きちんと教育もなされ大変信頼ができる」と評価いただけることを目的として、今期より、新入会員



必修講座・柴田仁市郎スクール校長

対象に必修の十五講座二事業を受講していただいております。受講カリキュラムや受講者は、すでに健保連情報交換会席上や保険審査会席上にて紹介させていただいておりますが、各位よりこの教育的取り組みについて非常に高い評価を頂戴しており、当会新人会員のステイタス向上につながっております。



## 必修講座カリキュラム

### A. モラル・教養(5テーマ・6講義)

テーマ	講師	講義数
民族医療としての柔道整復	柴田仁市郎 スクール校長	1
医療における倫理と柔道整復の理念	豊嶋 良一 副会長	1
公益法人とは何か、その意義とは何か	中川 利光 副会長	1
柔道整復師と療養費制度について 1・2	櫻田 裕 筆頭理事	2
宮城県柔道整復師会の変遷について	佐々木 賢 会長代理理事	1

### B. 社会貢献(2テーマ・4講義)

テーマ	講師	講義数
接骨院ボランティア宮城の意義・組織編成・活動の実際 1・2	大坂 武史 理事 新井田一吏 SVM幹事長	2
少年少女柔道大会について	木村 清徳 柔道大会推進委員長	1
チャレンジドスポーツフェスティバルについて	藤井 裕文 CSF実行委員長	1

### C. 学術研鑽(4テーマ・5講義)

テーマ	講師	講義数
日本柔道整復接骨医学会について	日時 誠 理事	1
宮城学術認定柔道整復師制度について	松元 浩二 理事 日時 誠 理事	1
依頼状の書き方について	亀井 啓 理事	1
論文への取り組みについて		1
宮城県「柔道整復学」構築学会について	松元 浩二 理事	1

### D. 公益活動参加(2事業)

1. 少年少女柔道大会(毎年4月第四日曜)
2. チャレンジドスポーツフェスティバル(隔年8月)



一般講座・熊谷 勲講師  
「整・接骨院で役立つ実践英会話教室」

前述の必修講座と平行して、前期にも増してより充実した、学術・経営・教養の三大テーマからなる一般講座も好評開講中です。明日からの業務に役立つ講義ばかりですので、まだ参加されたことのない会員の方は、是非一度参加してみてください。講義内容等のご案内は、毎月末の郵便物に同封されています。

## 第五期スクール開講状況



## みやぎ災害救援ボランティアセンター活動報告会に参加して

接骨院ボランティア宮城 幹事長 新井田 一 吏

去る、一月十九日にNPOプラザにて行われた「みやぎ災害救援ボランティアセンター活動報告会」に参加してまいりました。初めに宮城レスキューサポートバイクネットワーク（以下MRB）の藤井充さんが平成十七年七月に発生した新潟県中越地震と、同年九月に発生した秋田県北秋田市阿仁前田地区の水害にボランティア活動に行かれたお話しを、写真を交えながら講演されました。

新潟中越地震には私も先遣隊として同行しました。MRBの皆さんはバイクでの活動だったため私等よりも被災現場を見る範囲も広く、初めて見る被災現場の写真や被災者やボランティアの人たちとの話に、改めて当時の被害の様子が浮かんできました。北秋田市の水害でのお話しや写真には、川の氾濫の被害の様子や家屋・家周囲の後片付け、修理の大変さに驚きの連続でした。阿仁前田地区は住民の高齢化が著しいために家屋などの後片付けがなかなか進まないため、MRBの皆さんの土砂運びなどのボランティア活動は大歓迎だったようです。ボランティアの人達は慣れない前傾姿勢の作業のため苦痛の顔。「ボランティアは笑顔で！」の藤井さんの一声に、無理やり笑顔を作らされた人の写真がとても印象的でした。阿仁前田地区の住民は高齢者が多いことと市内中心部から離れていることから、支援物資をとりに行けない、中心部から人も情報も効率よく入ってこない等々の現実も知らされました。

次に質疑応答でトイレの重要性が話題に挙がりました。飲料水は「無くてはならないもの」との認識があり比較的早く被災地に届けられるそうですが、トイレは全く持つて足りないのが現状だそうです。被災した家屋や町並みが復興しても被災者に病気が蔓延したのでは本当の復興とはいえません。上水の被災にばかり目が向く所ですが、実は同時に下水も被災し、復旧は上水道だけでなく下水も同時に復旧されて初めて本当の復旧と言う話にも驚きました。最後に各家庭で出来る地震への準備を確認し報告会が終了しました。自分が何も準備していないことに恥ずかしさを覚え、更に離れて暮らす父母は地震対策の重要性や心構えがあるのだろうかとも心配になりました。自分がするべきことは、柔整師会として出来る地震への対策仕組み作りにも力を注ぐのと同時に、身近な人達にも地震対策の重要性や心構えを伝えることも大事なことだと考えさせられる報告会でした。

# 第53回 宮整ゴルフ愛好会 コンペについて

宮整ゴルフ愛好会 幹事

大坂 武史

平成十九年十一月二十三日（勤労感謝の日）、前日の雪でクロローズが予想された中、参加された先生方の日頃の心がけが良い為か、若干の寒さはありませんでしたが、晴天に恵まれ「第五十三回宮整ゴルフ愛好会ゴルフコンペ」が、表蔵王国際ゴルフクラブに於いて盛大に開催され、当会会員十四名の先生と会員関係者二名の十六名が参加し、日頃治療室での真剣な表情とは異なり、終始こぼれる笑顔の中、和気藹藹と和やかな雰囲気



気で、ゴルフを通し会員相互の親睦を深めました。

今回は、初心者先生にも上級者の先生にも優勝のチャンスが得られるように、初の試みでHDCP制が導入され、白熱したゴルフコンペとなりました。

表彰式の後、今後の運営方法について話し合われ、年代別に幹事の先

生が決議され、ゴルフ愛好会ゴルフコンペに参加者の拡大を誓い閉会いたしました。

当コンペは、勝敗だけにこだわるのではなく、日頃お話ししたことのない会員の先生と青空と緑の中で会話を弾ませ、コミュニケーションを図り、会員相互の親睦を深めることを目的としております。また、ゴルフ経験者のみのコンペではなく、これからゴルフを始めてみたい先生も大いに歓迎いたします。参加者の中には、ゴルフを始めて一年未満の先生やこのゴルフコンペが初ラウンドという先生もいらっしゃいます。会員同士恥ずかしいことはありません。さまざま年代の先生方と親睦を深め、普段なかなか聞くことの出来ない貴重な意見をお聞きすることで、自らの交友関係とネットワークを広げてみてはいかがでしょうか。

ゴルフは、紳士淑女のスポーツと言われる。ゴルフを通し、マナーを磨くことは、自己の人格の陶冶につながる。信頼される柔道整復師へ

の成長の一助となり、ひいては宮城県柔道整復師会会員の資質向上に資するものと確信しております。  
次回の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

成績は以下の通り、

優勝 高橋 邦彦会員

準優勝 小野 正孝様(会員関係者)

第三位 小野木 馨会員



## ……「風見鶏」……

庄子 和良

新年を迎え早や二ヶ月、暖かい日差しが待ち遠しい今日この頃です。

昨年暮れに話題となった「偽」の一字。この漢字が、去年一年間を振り返り、社会的出来事の印象や感想を表現する、象徴として選ばれたことは記憶に新しいことです。そしてこの「偽」から年が改まり、次には何になるだろうかと考えてみました。

偽ですから、そこには疑いが出て疑問となります。それらは質問や調査などの行動により現され、説明や解明により疑いを解くことが出来ます。しかし「言い訳」となったり「開示」を拒んだり、意図的に「制限」したりとなると

「怪しく」なります。また言い訳は大抵「うそ」でしょうか。

疑いが晴ればよいのですが、そうでない時は「不安」「不審」の元となり、風評風聞として様々な憶測を加えた意見、「憶説」となって真しやかに一人歩きしていきます。また不安な心は、意見や質問の形だけではなく「文句」となって不満も多くなります。

文句で済む場合は、これで「けり」が付くのですが、聞き入れられない場合や無視されたりすると、次は「怒り」となって沸き上がってきます。こうなると感情も加わり「憤り」となって心も傷つくことになりかねません。

出来ることなら、客観的に見詰め、冷静な目で見定め、判断することが賢明と思います。今年は、心静かに悠然と構えていきたいものです。

# 訃報

長年 会の発展にご尽力いただき、ご功績のあった  
会員の方々がご逝去されました。



上泉 貞彦 会員  
(平成19年2月1日没)



小松 忠司 会員  
(平成19年10月23日没)



阿部憲太郎 会員  
(平成19年10月26日没)



松川 忠八 元会員  
(平成19年9月退会)  
(平成19年11月6日没)



伊藤恵太郎 会員  
(平成19年12月18日没)

## ●役員歴

昭和四十五～四十七年 理事  
五十～五十五年 副会長  
昭和六十～六十一年 参与  
平成七～十二年 相談役  
平成十五年

## ●役員歴

昭和五十四～平成四年 理事  
昭和六十一～平成八年 宮城県柔道整復療養費審査委員会委員  
平成十五年

## ●表彰歴

平成八年 県民功労賞  
平成十一年 厚生大臣賞  
平成十七年 (社)宮城県柔道整復師会功労  
会員表彰  
平成十九年 (社)宮城県柔道整復師会会長  
表彰特別功労賞

## ●表彰歴

平成十五年 日整五十周年記念日整会長  
感謝状受賞  
平成十七年 (社)宮城県柔道整復師会功労  
会員表彰  
平成十九年 (社)日本柔道整復師会永年業  
務表彰  
平成十九年 (社)宮城県柔道整復師会永年  
勤続四十年表彰

陰となりひなたとなり、当会を  
そして私達を支え育ててくださっ  
た方々との悲しいお別れに際し、  
謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福  
をお祈り申し上げます。



## 編／集／後／記

新年を思う間もなく、早や三月、仕事に追われる毎日です。

皆様も寒い中、忙しい日々を過ごしている事だと思います。

今年は、広報誌も小刻みに編集し、短期間の間合いで、発行していきたいと考えております。また、頁は少し減りますが、中身はボリュームもあり、楽しめる様に企画していきたいと思えます。

今年も編集部一同頑張っ取り組みますので宜しくお願いいたします。

宮整広報 編集部

## 募 集

—— 意見・提言・趣味 ——

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思いませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。  
あなたは、(社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

**どんな方法でも結構です、一步前へ！**

社団法人 宮城県柔道整復師会

# 宮 整 広 報 No.81

平成20年2月29日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者 会長 上泉昌隆  
編集 広報部担当理事 目時 誠  
          広報Working Group主任 庄子和良  
委員 平山 修 千葉勝弘 稲葉泰三

印刷所 (資) 芳賀美術印刷  
〒980-0003  
宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号  
TEL 022(222)4225(代) FAX 022(222)4228